

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター ねむのき					公表日	令和 7年 3月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			十分なスペースは確保されていると感じますが、鎮静・リラックスできる場所（スヌーズレンであったり）が個別にあるとより良いと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃と玩具や遊具などの安全点検及び消毒を行っておりチェックリストにて確認し清潔な空間作りを徹底しています。また活動の内容によっては部屋を分けて十分なスペースを確保して活動ができるような設定をしています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		お子さまの状態や状況に応じて、適宜使用ができるようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		業務改善委員会を設置し、毎月1回話し合っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		第三者による外部評価を申し込んでおりましたが、今年度の実施に至りませんでした。	自己評価を実施するにあたり、自治体職員の同席により客観的な意見を踏まえて評価を行い、業務改善につなげます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月1回の職員研修を設けており、法人内での研修も定期的に行っています。また、外部講師による研修や地域の事業所職員を含めた研修も実施しています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		5領域との関連性を明確にした事業所における支援の実施に関する計画を作成し、HPにて公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		クラス職員を主に支援会議を実施し、意見を出し合いながら検討を行っています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		定期的にクラスミーティングを行いはなし合う機会を持ちながら、チーフが中心となって立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の遊びを取り入れながら子どもたちの発達段階を基に、5領域に沿って活動プログラムを立てています。利用児によって体験の機会に不平等がないように配慮しています。また、園内での活動だけでなく、園外（外出）に出ることで、近隣の社会資源を活用しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		保護者にうかがい希望があれば、個別活動の計画を作成し支援を行っています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		振り返りについては、インフォーマルに行われることが多いため、夕方に全体での共有の場を設けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個別支援計画に沿った視点で、支援後に記録をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		母子保健事業への協力や各関係機関との情報共有等、連携を図っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		利用児が併用している機関（保育所・幼稚園等）へ訪問し、情報交換の場を設け連携しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		移行後のアフターフォローを含め、就学後の支援も視野に入れていきたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6		合同で研修を実施するなど、他事業所とも状況に応じて連携しています。他事業所の公開療育に参加し、情報共有を図っています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		救命救急や感染症対応、発達凸凹チーム等の研修で専門家による助言を受けています。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		地元の小学校2校と交流会を行ったり、職場体験の受け入れをしています。地域の子育て支援センターや町内の交流拠点施設を利用しています。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時、園での様子を伝えたり、家庭での様子を伺うようにしています。親子通園を実施しています（保護者には月1回の親子通園を促している）その際、相談事等があれば適宜対応しています。また、年2回の個人懇談も実施しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		毎年ペアレントトレーニングのプログラムの受講者を募集しており、今年は4名受講されています。親の会では、勉強会も実施しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者からの要望があった際には時間を設け、相談対応を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		行事前の準備のお手伝いや、クラス活動参加後に時間を設け、気軽に意見交換を行ったり、話ができる場などを設けたりしています。また、全体の交流会も行いました。親の会では、OBの保護者からの話を伺える機会も設定しており、就学までに必要な情報が共有できる場となっています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談の申し入れがあった際にはできるだけ早急に対応するよう心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のクラスおたよりで、活動概要や行事予定などをお知らせしたり、SNS等を活用し、毎月の手遊びや給食のメニュー、各クラスの活動内容など発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		行事の際に、地域の民生委員の皆さんや人形劇団、に公演をヒーローショー、たいやきキッチンカー等、たくさんの方々にお越しいただいています。	対象がねむのき利用児のみとなっているので、地域のこどもを招待するなどの取り組みを進めたいと考えています。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		保護者に向けた『引き渡し訓練』を実施し、お子さまの受け渡しに関する一連の流れを周知しています。	家族へのマニュアルの周知は難しいですが、親の会や行事、HP等を利用した発信していきたいと考えています。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月様々な災害など想定した避難訓練を実施しており、消火器訓練や保護者への受け渡し訓練も行っていきます。	防災委員会によるBCPの見直しを定期的に行う予定です。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		基礎疾患があるお子さまには保護者に通院での様子を聞いたり内服の状況を確認しながらシール帳の基礎事項への記入を依頼しています。		
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止・権利擁護等についての施設内研修を実施したり、外部の研修に参加するなどしています。 また、セルフチェックリストを活用し支援への振り返りや見直しを行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		必要に応じて身体拘束適正化委員会を開催し、その都度内容について検討を行っています。また、個別支援計画作成時に保護者の方へ説明させていただいております。	